

## 1 社会資本の概要

島原市は雄大にそびえ立つ雲仙岳や市内の各所からわき出し、名水百選にも選ばれている湧水群、豊富な湯量を誇る温泉、世界ジオパークとして認定されている島原半島、素晴らしい景観資源、地域資源を有した地域です。



芝桜公園航空写真



芝桜公園から砂防堰堤を望む

一方、その地域資源の多くが火山活動と表裏一体の資源でもあり、過去には甚大な災害も経験された地域でもあります。平成5年に発生した雲仙普賢岳災害では、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらしました。

しまばら芝桜公園のある千本木地区も、平成5年に発生した雲仙普賢岳災害により周辺の自然や家屋が焼失しました。しまばら芝桜公園は、平成7年から整備が始まった砂防締切堰堤の堆砂地内に、市民の手で整備された公園です。

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

しまばら芝桜公園のある千本木地区は、平成5年に雲仙普賢岳噴火に伴う火砕流によって被害を受け、周辺の自然や家屋が焼失しました。噴火活動は終息した後も、郷土を支える観光業は低迷し、数多くの宿泊施設が閉鎖しました。この状況の改善、また災害で受けた全国からの支援に感謝し、元気になった島原を見てもらおうと、市民や観光客に楽しんでもらえる芝桜公園の整備構想の実現に向けて芝桜公園をつくる会を平成21年に設立しました。

公園造成当時は荒れ地で、一面草木が覆い茂って



砂防堰堤の上から望む整備前の風景

いる状況でしたが、島原農業高等学校の生徒によるボランティア活動により、山羊・羊を3か月間放牧し除草作業を行っていただきました。その後も砂防指定跡地という事もあり、大小様々な岩石も大量に掘り出されなかなか作業が進まず苦労しましたが、地元や多くのボランティアにご支援・ご協力頂き、芝桜を5年間で27万株植栽しました。また、芝桜の開花時期は4月のため、秋にも楽しめるようにと昨年度よりコスモスも植えています。



砂防堰堤の上から望む整備後の風景

## 3 地域への成果や波及効果等

平成24年度の年間入園者数(春20日)は17,900人、平成25年度は36,600人(春20日、秋30日)もの方に足を運んでいただき、遠くは関西地区～福岡、熊本、長崎、県外から訪れる方も多く、ツアー等でも多く利用いただいております。

芝桜公園を訪れる方が増えることによって、しまばら芝桜祭期間中に合わせ飲食店での『芝桜御膳』の提供や宿泊施設での『芝桜見学宿泊プラン』の造成等が行われ、地域活性にもつながりました。



多くの観光客で賑わう芝桜公園



地元の高校生による太鼓演奏

### 喜びの声



#### ●受賞者

特定非営利活動法人 芝桜公園をつくる会  
理事長 松本 良一

#### ●コメント

この度は「手づくり郷土賞」をいただき誠にありがとうございます。この荒れ地に芝桜をと発想された初代の足立会長、地元の方、除草作業に参加下さる方々、また島原市、長崎県、国のご協力と、どの1つが欠けても、この公園の存続はありえなかったかと思ひます。今年も4月の芝桜まつりに向けて頑張っています。

#### ●活動内容

芝桜、コスモスの植樹 など

#### ●活動の経緯

平成21年 『芝桜公園をつくる会』の発足  
平成24年 第1回 しまばら芝桜まつり開催

#### 所在地

長崎県島原市上折橋町 1465-2

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 芝桜公園をつくる会  
(0957-62-3986)

#### 対象となる社会資本

しまばら芝桜公園  
※管理者：長崎県 島原振興局



手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集